

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 9. 26

下水道機構の『新技術情報』 第14号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

先週は、台風15号が日本列島に猛威を振るいました。メルマガの配信を開始して何度目の災害でしょうか。胸が痛みます。台風の犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第14号をお届けします。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・9月13日(火)、第57回(平成23年度第1回)新技術現場研修会 @東京都勝島ポンプ所
流入菅渠工事を開催しました！

・9月11日～16日 第12回 International Conference on Urban Drainage (都市下水国際会議) (ブラジル国ポルトアレグレ) 当機構研究第二部の大嶽研究員が参加しました

★機構の動き

・9月28日(水)は、機構設立記念日(19周年)となります

★Tea Break

・名酒旅をせず(研究第一部 森田部長からの投稿です)

★みなさまからのコラム

・環境システム計測制御学会の第23回 EICA 研究発表会(日時:10月27日(木)、28日(金))
@長野県諏訪市『駅前市民会館』について情報をいただきました

★国からの情報

・9月22日付けの下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話です)

●9月13日(火)、第57回(平成23年度第1回)新技術現場研修会 @東京都勝島ポンプ所流

入管渠工事を開催しました！

今回の研修現場は、東京都下水道局が日本下水道事業団に施工委託し、東京都品川区で工事中のシールドトンネルです。このシールドトンネルは、外径が10mを超え（下水道では日本で最大級）、半径30mの急曲線S字カーブがあるなど技術的な難度が高く、現在二次覆工を施工中ですが、横背割りの複断面構造(上部：浜川幹線、下部：第二立会川幹線)となるなど特徴を持っています。この第二立会川幹線は、当機構も調査研究で係わりがあり、長大なふかし上げ構造となることや既設幹線からの取水が、高落差かつ大流量となることから、今年度、水理模型実験で水理的な挙動を確認、人孔構造などを検証することになっています。約40名の参加者のもと急曲線における余堀量が大きくなることから袋付きセグメント採用理由やセグメント継ぎ手「スライド・コッター継手」、複断面構造などの説明を受け、また、施工管理における現場の生の声を聴くことができ、大口径シールド工法の知見を深める事ができました。地下のシールドトンネル坑内も見学させていただきましたが、直径約10mもあるシールドトンネルの流れるようなフォルムは美しく、圧巻でした。

日本下水道事業団の有留主幹と前田・鴻池・大日本建設JVの北村現場代理人におかれましてはお忙しいところ、現場研修会の対応をしていただき、ありがとうございました。

また、当機構研究第二部の藤田研究員が「第二立会川幹線水理模型実験」についての説明を行いました。参加者の方から、後日お問い合わせをいただくなど、水理模型実験の関心の高さを改めて感じました。当機構では、大規模管きょにおける水理現象に関する調査研究を実施し、知見を有しています。ご相談があれば、お気軽にどうぞ。

●9月11日～16日ブラジルポルトアレグレで開催された第12回International Conference on Urban Drainage(ICUD-都市下水国際会議)に参加し、「新潟市における雨水浸透の維持管理方法に関する研究」について口頭発表を行いました。大嶽研究員からの参加報告を掲載します。

ポルトアレグレはブラジル南部に位置する人口140万人ほどの中核都市で、海岸より数百キロ先の大西洋沖が日本の真裏に当たります。日本からの直通便はなく、アメリカを経由して30時間ほどの大旅行の果てにようやくたどり着きました。日本からは西回りのヨーロッパ経由で来られた方もおられ、まさに地球の裏側に来たことを実感した次第です。会議が開催された9/11-16は初春だったのですが、気持ちのよい青空の下昼間の気温は25℃程度まで上昇し半袖一枚で十分な気候でした。

会議には日本から15名のほか世界各国より総勢400人ほどが参加し、セッション合間のコーヒブレークには、ブラジルの濃い目のコーヒーとスイーツ目当てに人が溢れ、活気に満ちていました。

発表は、新潟市が洪水対策として普及推進している家庭用浸透弁の経年劣化、浸透効率が低下した際の清掃方法、つまりの原因物質の特定についての調査結果を報告しました。

およそ 30 名の方にお聞きいただき、質問や発表後の意見交換など多くいただきました。現地ブラジルの方からはもちろんですが、オーストラリアのブリスベン、メルボルンから来られた研究者の方から質問が多かったのが印象的でした。

今回国際学会参加は、研究成果を世界に発信するためのツールとしての英語の重要性を再認識するきっかけとなり、学習意欲が向上するとともに、(会議の合間に) ドイツ系移民が多く定着した当地のバーベキューとビールを堪能することができ、意義深いものとなりました。

機構の動き (機構の行事予定です)

●9月28日(水) 【新着情報!】

下水道新技術推進機構設立記念日(19周年)

●10月12日(水)13:00~17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所:機構会議室)

●10月14日(金)13:00~17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所:機構会議室)

10月21日(金)13:00~17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会(大阪会場、場所:大阪科学技術センター)

講習会内容、参加申込はこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-06.htm>

●10月13日(木)17:00~18:00

第297回技術サロン (場所:機構会議室、講師:国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課 河川情報企画室長 五道仁実氏、テーマ:「XバンドMPレーダの整備、活用について」)

参加申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-297.htm>

●10月24日 13:30~16:30

下水道機構事業報告会@アイビーホール(東京都渋谷区)

★9月29日(木)

高知大学農学部流域環境工学コース研修会

当機構研究第一部の森田部長が出席し、「東日本大震災を教訓とした下水道の危機管理対策のあり方について」講演します。

★10月11日(火) 13:30~17:30 NPO 法人 21世紀水倶楽部「ディスプレイに関するシンポジウム」(場所:機構8階中会議室)

全体討論のコメンテーターとして当機構研究第一部の森田部長が出席します。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●名酒旅をせず(研究第一部 森田部長からの投稿です)

今回は、ポーランドのお酒の話です。ポーランドの料理の基本は、豚肉と小麦で、お酒でたくさん飲まれているのはウオッカとビールです。

このウオッカですが、原料は何かご存じですか？答えは麦とジャガイモです。ただ、40度前後の蒸留酒なので、原料による味の違いはあまり無いように感じました。薬草のエキスや甘いシロップを添加しているウオッカもあり、原料よりも、添加物の影響の方がはるかに大きいと思いました。いずれも美味しかったので、お土産にと思ったのですが、酒場で知り合ったポーランド人に「名酒、旅をせず」と言われて、現地だけで飲むことにしました。

寒い気候と豚肉と小麦の料理には、強い蒸留酒が合うのだらうと思いました。南北に長い我が国を振り返っても、沖縄で初めて飲んだオリオンビールは、大感激しましたが東京に持ち帰ると少しイメージが違いました。暑い気候と味の濃い沖縄料理には、オリオンビールのような爽やかな味が合い、本土では、より濃い味のビールが合うのだらうと思いました。

みなさまのコラム(皆様からお寄せいただいた情報です)

●環境システム計測制御学会の第23回 EICA 研究発表会(日時:10月27日(木)、28日(金))@長野県諏訪市『駅前市民会館』について情報提供がありました

環境システム計測制御学会(会長、田中宏明京都大学大学院教授)は、第23回 EICA 研究発表会を開催します。研究発表会および講演会、現地視察を予定しており、研究発表会では、東日本大震災時に活躍した下水道光ファイバーの耐震化敷設技術調査や韓国からのスマートウォーターグリッドの構築、維持管理事業者からの設備保全における音響診断技術の活用など、講演会では諏訪湖での湖沼浄化をテーマとした信州大学沖野外輝夫名誉教授花里孝幸教授の講演を行います。

日時:平成23年10月27日(木)、28日(金)

場所:長野県諏訪市、駅前市民会館

申込み:ホームページ <http://eica.jp/> から「参加申込みフォーム」をダウンロードして下さい。

連絡先:環境システム計測制御学会 事務局 間處・北川

〒525-0021 滋賀県草津市川原 1-4-30-103

TEL:077-562-0014 E-mail :info@eica.jp

※掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション (2011.9.22 付、国からの最新情報です)

送信元： 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

台風 12 号に続き、15 号でも各地で大きな被害が出たようです。仙台市では下水道の維持管理職員 1 名が亡くなられ、1 名が行方不明となっています。まだまだ出水期は続きます。くれぐれも安全第一で。

今週は J S と下水道光ファイバー協会から情報を頂いています。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 大雨時の安全対策の徹底について【下水道企画課・下水道事業課】
- 台風 15 号による被害状況について【下水道事業課】
- 下水道セーフティネット 9 月 1 日号【下水道事業課】
- これで J S の最新情報がわかる!! JS 技術報告会 (第 3 回) を開催
—東京会場 10 月, 大阪会場 11 月—
- 下水道光ファイバー技術講習会のご案内【下水道光ファイバー協会】

☆☆☆☆☆ 東日本大震災関連 ★★★★★

- 今週のトピック～南蒲生浄化センター復旧方針固まる～

=====

- 大雨時の安全対策の徹底について【下水道企画課・下水道事業課】

昨夜、仙台市の公共下水道雨水管渠において、開渠から暗渠に変わる箇所に設置しているスクリーンの目詰まり調査に向かった職員 2 名が何らかの原因で流されるという事故が発生したところ。このため、9 月 22 日付で事務連絡を発出しました。出水期間中の安全対策の徹底に万全を期されますようお願いいたします。

- 台風 15 号による被害状況について【下水道事業課】

(9 月 22 日 14 時現在)

下水道施設被害

岩手県二戸市：マンホールポンプが浸水により停止、管内貯留で対応中。

浸水解消後に設備点検予定。

宮城県仙塩浄化センター：地下管?浸水、排水作業中。浸水解消後に設備点検予定。

水処理機能は浸水前の機能に復旧済み。

県南浄化センター：同上。

石巻東部浄化センター：同上。

仙台市南蒲生浄化センター：浸水中。浸水解消後に設備点検予定。

水処理機能は浸水前の機能を維持。

○下水道セーフティネット 9月1日号【下水道事業課】

8月は下水道工事で8件の事故が発生しました。このうち1件は死亡事故です。原因は掘削作業中の地山崩壊によるコンクリート塊の落下であり、掘削作業時の仮設工等の不備と考えられます。また、6月から3ヶ月連続で死亡事故が発生しています。工事現場の安全対策の徹底をくれぐれもお願いします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

●これでJ Sの最新情報がわかる!! JS 技術報告会（第3回）を開催

—東京会場 10月、大阪会場 11月—

JS から「震災対応」「新技術（水処理関係、資源・リサイクル）」の最新情報を報告します。

また、国交省から岡久下水道部長をお招きし、下水道行政の動向を講演頂きます。

本技術報告会は、日本下水道事業団（J S）がこれまで取り組んできた調査研究・業務の内容を地方公共団体はじめ下水道関係者に幅広くご紹介する「情報発信の場」として開催しているものです。参加費無料ですので、ぜひ足をお運びください！

（東京会場）

期日 2011年10月19日(水)10:00~17:00

場所 発明会館ホール(東京メトロ虎ノ門駅徒歩5分)

（大阪会場）

期日 2011年11月9日(水)10:00~17:00

場所 大阪科学技術センター(地下鉄本町駅 徒歩3分)

詳細及び申込み方法は下記HPへ

<http://www.jswa.go.jp/spot/gijyutuhoukokukai/index.html>

問合先 事業統括部アセットマネジメント推進課 重富

TEL03-6361-7832 E-mail:Shigetomi@jswa.go.jp

●下水道光ファイバー技術講習会のご案内【下水道光ファイバー協会】

当協会は、国土交通省のご支援をいただく中、災害に強い下水道光ファイバー敷設に関

する技術普及やセンシング技術の開発に努めており、各自治体の計画策定や様々な調査、事業展開をご支援する活動を行っています。この活動の一環として、本年度も「下水道光ファイバー技術講習会」を開催いたします。今年の講演会では、国土交通省下水道部企画課から「震災復旧・復興と我国下水道を取り巻く最近の動向（仮題）」についてご講演をいただくとともに、「センシング技術と活用事例」、並びに「下水道管渠内に敷設する光ファイバーの設計・施工・維持管理・管路更生に伴う技術等」に重点をおいた講習を行う予定です。多数の参加申込をお願い申し上げます。

日時：平成23年11月11日（金）9：30～16：30

場所：（社）日本下水道協会会議室

東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル5階

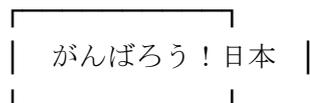
（最寄り駅：JR神田駅西口 徒歩約4分）

参加対象：どなたでも参加できます

申込締切：平成23年10月28日（金）

問合せ先：当協会事務局（TEL 03-6206-0222）まで

※詳しくは <http://www.softa.or.jp/>



◆◆◆◆ 東日本大震災関連 ◇◇◇◇

○今週のトピック～南蒲生浄化センター復旧方針固まる～

9月15日、南蒲生浄化センター復旧方針検討委員会（委員長：東北大学大村教授）より
仙台市

長に提言書が提出されました。

これから南蒲生浄化センターの復旧が本格化します。

詳細は下記 URL をご覧下さい。

http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/lifeline/gesui/1198913_1587.html#teigensyo

○下水道施設被害状況（9月15日時点）

下水処理場 | 震災当初 | 現在

稼働停止		48		16	※1
施設損傷		63		—	
正常に稼働		—		95	※2
不明		9		9	※3

計		120		120
---	--	-----	--	-----

- ※1 応急対応中 13、準備中 1、汚水発生なし 2
- ※2 ほぼ通常の処理を含む
- ※3 福島第一原発周辺

ポンプ場		震災当初		現在
------	--	------	--	----

稼働停止		79		19	※1
施設損傷		32		18	
正常に稼働		—		74	※2
不明		1		1	※3

計		112		112
---	--	-----	--	-----

- ※1 汚水 3 (すべて応急対応中)
雨水 16 (応急対応中 6、排水対象なし 10)
- ※2 ほぼ通常の排水を含む
- ※3 福島第一原発周辺

下水管きょ (テレビカメラによる調査の結果)
11 都県の 129 市町村等 (うち調査済 126)
被害延長/総延長 573km/64,730km

※被害状況については国土交通省 HP にも掲載

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html

http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_fr_000007.html

=====

【参考情報】

◆セシウム汚泥 4カ所に仮設保管庫 / 神奈川 <9/9 朝日新聞>

http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k_id=15000001109090004

- ◆大震災半年：放射性物質処理 廃棄物、法の想定外 <9/9 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/select/weathernews/20110311/halfyear/news/20110909ddm003040103000c.html>
- ◆県有地に汚泥保管検討 あす震災から半年 知事「県民の健康対策重視」／栃木 <9/10 下野新聞>
<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/top/news/20110909/606827>
- ◆下水の掘削現場を親子が探検 浜松の中部浄化センターで見学会 <9/11 中日新聞>
<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20110911/CK2011091102000020.html>
- ◆大雨の際の未処理下水放流削減へ市街地に貯留施設 <9/11 両丹日日新聞>
<http://www.ryoutan.co.jp/news/2011/09/11/004120.html>
- ◆越境下水整備計画を県が激賞 <9/12 中国新聞>
<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201109120006.html>
- ◆県下水処理 7 施設、汚泥や焼却灰の搬出再開 <9/13 茨城新聞>
http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13158273006216
- ◆川崎市 受け入れ中止 焼却灰埋め立てへ <9/13 朝日新聞>
http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k_id=15000001109130004
- ◆ゼオライトで浄化へ 南本牧処分場に埋め立ての焼却灰 <9/14 東京新聞>
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20110914/CK2011091402000047.html>
- ◆セシウム検出：下水汚泥焼却灰、埋め立てを凍結 横浜市 <9/14 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/select/jiken/news/20110915k0000m040085000c.html>
- ◆八戸市、微量でも処理不可 本県がれき放射性物質 <9/15 岩手日報>
http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20110914_2
- ◆老朽下水道管、補強・再生工法学ぶ 南区で説明会 <9/15 京都新聞>
<http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20110915000101>
- ◆公園ホットスポット問題 汚染土砂きょう撤去 中原と多摩 <9/16 東京新聞>
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20110916/CK2011091602000023.html>
- ◆秩父市 下水汚泥の搬出再開 太平洋セメント熊谷工場 <9/16 東京新聞>
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20110916/CK2011091602000030.html>
- ◆下水・し尿一括処理 調査会が提案／高松市 <9/16 四国新聞>
http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20110916000195
- ◆今夏だけで3回冠水 駿河区西島、市に対策要望へ <9/16 静岡新聞>
<http://www.at-s.com/news/detail/100061464.html>
- ◆群馬・伊勢崎の最終処分場排水、セシウム基準超 <9/21 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/select/jiken/news/20110921ddm012040010000c.html>

